

平成 30 年度 八王子市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告
令和元年（2019 年）5 月
八王子市（東京都）

○計画期間:平成 30 年(2018 年)4月～令和5年(2023 年)3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成 30 年度(2018 年度)終了時点(平成 31 年(2019 年)3月 31 日時点)の中心市街地の概況

本市は、平成 30 年(2018 年)3 月 23 日に内閣総理大臣から認定を受けた八王子市中心市街地活性化基本計画に基づき、「世代をつなぎ、輝き続けるにぎわいのまち～来心地と居心地の良さの両立を目指して」を基本理念に掲げ、「来心地も居心地も良い暮らしやすいまちづくり」、「出店したくなる魅力あるまちづくり」、「買い物笑顔に繋がるまちづくり」の 3 つの方針のもと、中心市街地の活性化に資する各事業を実施している。

平成 30 年度(2018 年度)については、都市機能の向上として、J R 八王子駅周辺に集中する来街者のにぎわいを中心市街地全体へと誘引する滞留性・回遊性の強化を目的とした「マルベリーブリッジ西側延伸」、「ユーロード周辺のにぎわい創出事業」に着手し、整備を進めている。

また、経済活力の向上としては、民間事業の核となる「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」が、事業者により施設整備に向けた検討が進められていることや、「民間商業施設建設事業」により平成 30 年(2018 年)11 月に J R 八王子駅南口に商業施設がオープンするなど、新たな動きが見える形で現れており、今後の中心市街地における商業活動の活性化が期待される。

そのほかの計画掲載事業についても、大半の事業に着手しているところではあるが、計画初年度ということもあり、目標指標である新規出店数、小売業年間商品販売額の状況からわかるように現段階ではその効果を実感するに至っていない。

引き続き、中心市街地の活性化を図るため、官民が一体となって事業に取り組むことで確実な事業の推進を図り、来街者にも居住者にとっても魅力あるまちとして輝き続ける中心市街地の実現を目指していく。

【**中心市街地の状況に関する基礎的なデータ**】

(基準日：毎年度 12月31日)

(中心市街地 区域)	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
人口	30,121 人	30,921 人				
人口増減数	738 人	800 人				
自然増減数	▲19 人	▲19 人				
社会増減数	810 人	896 人				
転入者数	4,079 人	4,154 人				

2. 平成 30 年度(2018 年度)の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

平成 30 年(2018 年) 3 月 23 日に基本計画の認定を受け、八王子市中心市街地活性化協議会として関係主体が実施するまちづくり事業の調整を図るとともに中心市街地活性化に資する事業活動を推進した。

平成 30 年度(2018 年度)は、5 月に第 7 回協議会を開催し、10 月、2 月に第 8 回、第 9 回を開催して各事業の経過報告及び基本計画の変更について協議を行った。

また、民間が主体となり地域と連携して取組むこととなる事業について「西放射線ユーロードワーキンググループ」など 3 つのワーキンググループを設置し、事業推進体制を構築し、検討を行っている。

基本計画の認定から 1 年が経過し、回遊性を創出するハード整備事業を中心に全 86 事業の大半の事業が動き出しており、基本計画は順調に進捗していると評価するとともに、民間の取組みが加速することに期待する。

今後も、引き続き、官民が連携し基本計画事業の推進を図りたいと考える。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
歩きやすく、憩いやすいまち	歩行者通行量	124,297 人 /日 (H28)	128,764 人 /日 (R4)	125,644 人 /日 (H30)	B	—	①
新たな老舗を生み出すまち	新規出店数	30 店舗 (H24～28 合計)	57 店舗 (H30～R4 合計)	4 店舗 (H30)	C	—	③
買い物をするのが楽しくなるまち	小売業年間商品販売額	7,742,391 万円 (H28)	8,050,462 万円 (R4)	7,564,316 万円 (H30)	C	—	③

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「歩行者通行量」については、平成 25 年度（2013 年度）から減少していた歩行者通行量が、今回のフォローアップ時点で平成 28 年度（2016 年度）基準値を 1,347 人上回る状況となった。これは、「民間共同住宅建設事業」などのマンション建設に伴う居住人口の増加が要因と思われる。

今後は、「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」における新たな商業施設整備により集客数の増加や「マルベリーブリッジの西側延伸」、「ユーロード周辺のにぎわい創出事業」による歩行空間の整備で回遊性の向上を図るなど計画掲載事業の着実な実施により目標達成は可能と見込んでいる。

「新規出店数」については、計画初年度ということもあり「空き店舗改修・リノベーション事業」及び「本気の創業塾」の出店支援策による 4 店舗に留まったが、今後は、中町での商業・集客施設整備を計画していることや「空き店舗改修・リノベーション事業」、「夢・五房の運営」での出店、サイバーシルクロード八王子といった創業支援機関による出店支援策の推進により目標達成は可能と見込んでいる。

「小売業年間商品販売額」については、フォローアップ時点で、基準値を約 18 億円下回る結果となり、中心市街地の経済状況は引き続き厳しい状況となっている。しかし、平成 30 年度（2018 年度）中に「民間商業施設出店事業」、「民間商業施設建設事業」により新規に商業施設が開業したことや計画期間後半に実施する事業により目標達成は可能と見込んでいる。

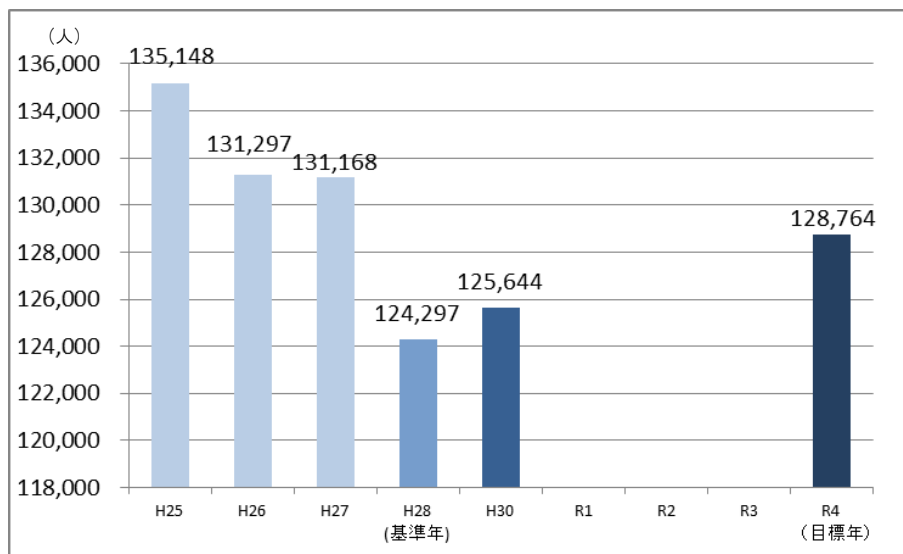
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

認定計画初年度のため、前回のフォローアップは実施していない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「歩行者通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 61～P. 63 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H28	124,297 (基準年値)
H30	125,644
R1	
R2	
R3	
R4	128,764 (目標値)

※調査方法： 中心市街地内 23 地点における歩行者数を毎年 12 月の第 1 日曜日とその 2 日後の火曜日に 9 時～22 時まで計測

※調査月： 平成 30 年(2018 年)12 月

※調査主体： 八王子市

※調査対象： 中心市街地内 23 地点（東放射線アイロード①、東放射線アイロード②、ドン・キホーテ前、横山町公園、八王子駅入口交差点、甲州街道①、甲州街道②、八日町交差点、甲州街道③、甲州街道④、桑並木通り、八王子スクエアビル西①、八王子スクエアビル西②、八王子スクエアビル北、パーク壺番街通り①、パーク壺番街通り②、甲州街道⑤、富士見通り、みさき通り、ジョイ五番街通り、みずき通り、野猿街道、とちの木通り）における歩行者通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. マルベリーブリッジの西側延伸（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～平成 31 年度【実施中】
事業概要	JR 八王子駅北口駅前広場から、西放射線ユーロードへの動線の利便性向上を図り、駅と駅前の大型店を中心としたにぎわいを周辺商業施設へと促すために、マルベリーブリッジを西側へと延伸整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（八王子市中心市街地周辺地区 都市再生整備計画事業）（国土交通省）（平成 31 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年(2018 年)9 月に工事着手し、令和 2 年(2020 年)3 月の完了を目指して事業を進めており、順調な進捗状況にある。

	完了後は本事業により 2,387 人/日の歩行者通行量の増加を見込んでいる。
事業の今後について	引き続き、令和 2 年(2020 年)3 月の完了を目指して、事業に取り組む。

②. ユーロード周辺のにぎわい創出事業（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～平成 32 年度【実施中】
事業概要	西放射線ユーロードにおいて、舗装や道路付属物（車止め等）の更新、植栽の設置など、景観に配慮した歩きたくなる道路空間の整備を行う。また、沿道の公園も含め、道路空間と一体となった憩いの空間として整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（八王子市中心市街地周辺地区 都市再生整備計画事業）（国土交通省）（平成 30 年度～平成 32 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度(2018 年度)は、西放射線ユーロード西側の横山町エリアの整備を実施し、概ね順調な進捗状況にある。今後、令和元年度(2019 年度)に中町エリア、令和 2 年度(2020 年度)に旭町・三崎町エリアの整備を予定しており、令和 3 年(2021 年)3 月の事業完了を目指している。 完了後は本事業により 3,194 人/日の歩行者通行量の増加を見込んでいる。
事業の今後について	引き続き、令和 3 年(2021 年)3 月の完了を目指して、事業に取り組む。

③. 民間商業施設出店事業（民間事業者）

事業実施期間	平成 30 年度【済】 [認定基本計画：平成 31 年度～]
事業概要	甲州街道沿道地区にマンション建設と合わせて新たな商業施設の出店を誘引し、エリアの買い物利便性を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 31 年(2019 年)1 月にマンションが竣工し、3 月に「イオンフードスタイル八王子店」が開業した。今回のフォローアップにおいては、平成 30 年(2018 年)の数値であることから、本事業の効果が反映されていないが、歩行者通行量の増加に期待できる。 なお、本事業により 3,446 人/日の歩行者通行量の増加を見込んでいる。
事業の今後について	本事業は、平成 31 年(2019 年)3 月の商業施設開業により、事業完了した。

④. 中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために中町で商業施設、憩いのスペース等の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（経済産業省）（平成 30 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度(2018 年度)は、本事業で整備する商業施設についての基本計画、基本構想の検討とあわせて中心市街地活性化協議会にワーキンググループを設置し、地元との合意形成を図るなど概ね予定どおり事業を進めている。 なお、本事業により 1,300 人/日の歩行者通行量の増加を見込んでいる。
事業の今後について	基本計画の検討は順調に進んでいる。今後は、計画期間内での開業に向け、事業に取り組む。

⑤. 民間共同住宅建設事業（民間事業者）

事業実施期間	平成 30 年度【済】 [認定基本計画：平成 30 年度～平成 31 年度]
事業概要	民間事業者が新たな共同住宅を建設する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度(2018 年度)に計画に記載する民間共同住宅 3 棟が予定どおり竣工した。今回のフォローアップにおいては、平成 30 年(2018 年)に竣工したマンションに近接する調査地点の歩行者通行量が平成 28 年と比較して 420 人増加している。 なお、本事業により 5,406 人/日の歩行者通行量の増加を見込んでいる。 ブリリアタワー八王子（平成 31 年(2019 年)1 月竣工 226 戸） ルネ八王子トレーシア（平成 31 年(2019 年)1 月竣工 86 戸） ミオカステーロ八王子Ⅱ(平成 30 年(2018 年)9 月竣工 83 戸)
事業の今後について	本事業は、民間共同住宅 3 棟の竣工により、事業完了した。

⑥. 魅力づくり・にぎわい創出支援事業（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の新たな魅力創出による回遊性促進のため、民間による民地を活用した滞留拠点や一体的なファサードの整備等に対して

	その費用の一部を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度(2018 年度)に本事業を活用した滞留拠点整備は、1 件であったが、事業実施場所では、商店会がイベントを実施するなどにぎわい創出の一助となっており、歩きやすく、憩いやすいまちづくりに寄与している。
事業の今後について	本事業については、継続して実施し、魅力創出につながる民地を活用した整備に対し支援することで、更なる滞留拠点等の創出を図り、歩行者通行量の増加につなげていく。

⑦. 中心市街地ソフト事業支援事業

（一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市）

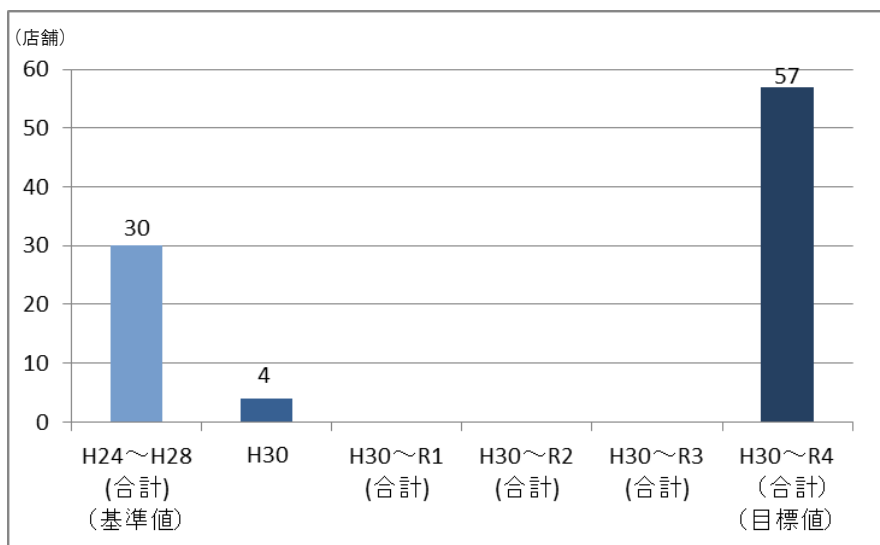
事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で実施される民間イベントなどのソフト事業を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度(2018 年度)において、各実施主体が支援を行うことにより、新規のイベントとして、テレビアニメの放送を記念して実施した中心市街地内の複数店舗（大型店を含む）をめぐるまち歩きイベントや商店会の周知や来場者の回遊性向上を目的とした「楽ぱく秋まつり」が開催されるなどにぎわいの創出に寄与している。
事業の今後について	今後も、民間によるイベントの開催支援を行っていく。また、一元的に情報提供などを行うことができる相談窓口の設置に向けて各事業主体間で検討を進めていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能と考えられる。今後は、「民間共同住宅建設事業」や「民間商業施設出店事業」により、増加する居住者及び来街者のにぎわいを中心市街地全体に波及させる「マルベリーブリッジの西側延伸」、「ユーロード周辺のにぎわい創出事業」による歩行空間の整備を着実に推進する。さらにまちの魅力向上させ、新たな来街者を誘引するために「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」といった民間事業の取組みを進め、官民が連携して回遊性の向上を図っていく。

「新規出店数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 64～P. 65 参照

●調査結果の推移



年	(店舗)
H24 ~28	30 (基準年値)
H30	4
H30 ~R1	
H30 ~R2	
H30 ~R3	
H30 ~R4	57 (目標値)

※調査方法： 事業実施者への聞き取り調査

※調査月： 平成 31 年(2019 年)3 月

※調査主体： 八王子市

※調査対象： 積算事業により中心市街地に出店した新規店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために中町で商業施設、憩いのスペース等の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（経済産業省）（平成 30 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度(2018 年度)は、本事業で整備する商業施設についての基本計画、基本構想の検討とあわせて中心市街地活性化協議会にワーキンググループを設置し、地元との合意形成を図るなど概ね予定どおり事業を進めている。 なお、本事業により 8 店舗の新規出店を見込んでいる。
事業の今後について	基本計画の検討は順調に進んでいる。今後は、計画期間内での開業に向け、事業に取り組む。

②. 空き店舗改修・リノベーション事業（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地内の空き店舗を改修もしくはリノベーションして出店する事業者に対して店舗改修費の補助を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 30 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度(2018 年度)に本事業を活用した中心市街地への出店数は 3 店舗となり、新規出店事業者数の増加に寄与している。 なお、本事業により 25 店舗の新規出店を見込んでいる。
事業の今後について	本事業については、継続して実施し、令和元年度(2019 年度)は、補助対象事業者数を拡大する。また、新規出店希望者が利用しやすい制度に改善していくとともに更なる活用を促進するため、周知を図り、出店支援の取組みを強化していく。

③. 夢・五房の運営（八王子商工会議所）

事業実施期間	平成 15 年度～【実施中】
事業概要	甲州街道沿いにある市有物件「中心市街地活性化施設」の 5 店舗を活用した賑わいの創出を図るために、当該施設の貸出及び支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度(2018 年度)は、中心市街地活性化協議会にワーキンググループを設置し、施設の利活用について検討を進めており、先進事例の視察を行うなど概ね予定どおり事業を進めている。 なお、本事業により 4 店舗の新規出店を見込んでいる。
事業の今後について	新たな利活用策の検討は、順調に進んでいる。今後は、利活用策の詳細を決定し、出店者の募集を行い、新規出店者数の増加を図る。

④. 本気の創業塾（サイバーシルクロード八王子）

事業実施期間	平成 17 年度～【実施中】
事業概要	基本的な創業ノウハウの学習や、志望業種に合わせた実践的なマーケティング、ビジネスプランのブラッシュアップ等を行うことで人材育成を行い、創業を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度(2018 年度)に本事業を活用しての中心市街地への出店数は 1 店舗であるがサービス、小売、飲食、製造など多岐の分野にわたり、毎年 20 名程度が受講している。平成 17 年度(2005 年度)に開始して以来、計 382 名にのぼり、女性の創業も増えてき

	<p>ていて、新規出店事業者数の増加に寄与している。</p> <p>なお、本事業により 20 店舗の新規出店を見込んでいる。</p>
事業の今後について	<p>本事業に加えて、実施主体、市、商工会議所及び金融機関等で構成する起業家応援プロジェクトを中心に、創業個別相談を実施し、開業に向けた準備段階に合わせたシームレスかつきめ細かな支援を行い、今後も持続的に創業希望者の新規出店につなげていく。</p>

⑤. 空き店舗マッチング事業（一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子市）

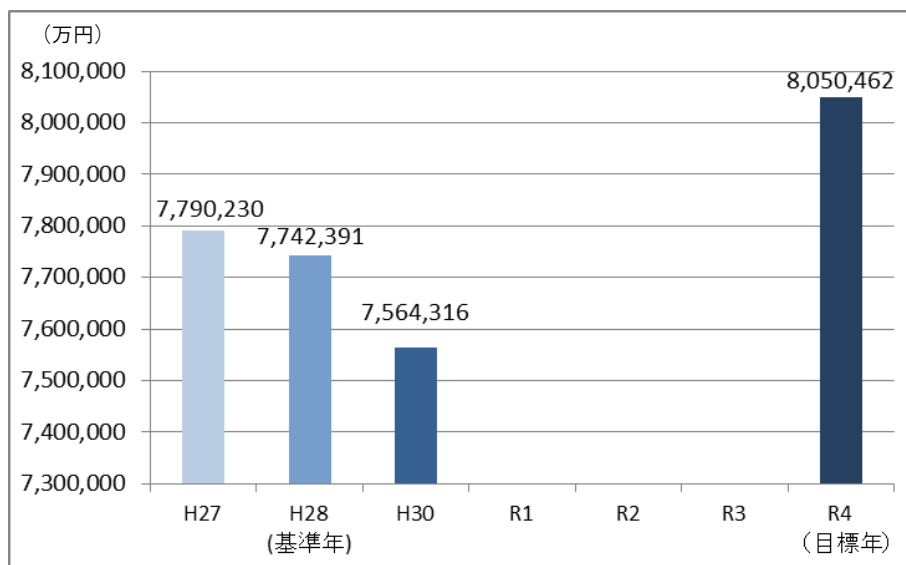
事業実施期間	平成 30 年度～【未実施】
事業概要	<p>民間の不動産事業者等と連携し、空き店舗オーナーの実態調査や貸す気のないオーナーへの働きかけ、出店希望者とのマッチング等の取組みを行い新規出店を支援する。</p>
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>平成 30 年度(2018 年度)は、本事業の仕組み構築に向け、民間の不動産事業者との意見交換に取組み、概ね予定通り進めている。</p> <p>なお、本事業により新規出店を促進する事業効果を見込んでいる。</p>
事業の今後について	<p>本事業については、協議及び調整を継続して進め、早期の事業開始に向けて取組む。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

今後は、「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」、「夢・五房運営」により 12 店舗の出店が見込まれていること、また、取組み中の「空き店舗マッチング事業」により、出店希望者と空き店舗のマッチングを行うとともに「空き店舗改修・リノベーション事業」、「本気の創業塾」などの出店支援策とも連携することにより新規出店を促進させていくことから目標達成は可能と見込んでいる。

「小売業年間商品販売額」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 65～P. 67 参照

●調査結果の推移



年	(万円)
H28	7,742,391 (基準年値)
H30	7,564,316
R1	
R2	
R3	
R4	8,050,462 (目標値)

※調査方法：対象店舗に対するアンケート調査

※調査月：平成31年(2019年)3月

※調査主体：八王子商工会議所

※調査対象：小売業店舗 84 店舗及び計画期間中に新たに会議所に参加する中心市街地エリア内の小売業店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 民間商業施設出店事業（民間事業者）

事業実施期間	平成30年度【済】 [認定基本計画：平成31年度～]
事業概要	甲州街道沿道地区にマンション建設と合わせて新たな商業施設の出店を誘引し、エリアの買い物利便性を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成31年(2019年)1月にマンションが竣工し、3月に「イオンフードスタイル八王子店」が開業した。今回のフォローアップにおいては、平成30年(2018年)の数値であることから、本事業の効果が反映されていないが、小売業年間商品販売額の増加に期待できる。 なお、本事業により800,000,000円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	本事業は、平成31年(2019年)3月の商業施設開業により、事業完了した。

②. 民間商業施設建設事業（民間事業者）

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	八王子駅周辺地区の開発において新たな大型商業施設の建設を誘引することで、周辺の商業施設との相乗効果により集客力の向上を図り、経済活力の向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	八王子駅周辺地区については、平成 30 年(2018 年)11 月末に「八王子オーパ」が開業した。今回のフォローアップにおいては、平成 30 年(2018 年)の数値であることから、本事業の効果が反映されていないが、開業時には、38 の店舗が出店したことからまちなかへの来街機会の創出につながっており、小売業年間商品販売額の増加に期待できる。 なお、本事業により 4,488,000,000 円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	本事業は、平成 31 年(2019 年)3 月の商業施設開業により、事業完了した。

③. 中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業

（一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために中町で商業施設、憩いのスペース等の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（経済産業省）（平成 30 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度(2018 年度)は、本事業で整備する商業施設についての基本計画、基本構想の検討とあわせて中心市街地活性化協議会にワーキンググループを設置し、地元との合意形成を図るなど概ね予定どおり事業を進めている。 なお、本事業により 36,000,000 円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	基本計画の検討は順調に進んでいる。今後は、計画期間内での開業に向け、事業に取り組む。

④. MICE 開催による八王子ブランドの手土産等の販売促進事業

（公益社団法人八王子観光コンベンション協会）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】 [認定基本計画：平成 31 年度～]
--------	--------------------------------------

事業概要	公益社団法人八王子観光コンベンション協会が取り組みを進めている市内のホール等を活用した、展示会、学会、イベントなどのMICE誘致に合わせて、商業分野の事業者と連携して参加者等へ八王子ブランドの銘菓や織物製品などのお土産をPRし、販売を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成30年度(2018年度)に、実施主体が支援したMICE開催件数は30件となり、うち中心市街地の小売業店舗を利用した開催支援件数は17件(参加者約10,000人)で、711万円の売上げがあり、小売業年間商品販売額の増加に寄与した。
事業の今後について	本事業については、継続して実施し、今後もMICE開催支援に取組み、更なる小売業年間商品販売額の増加を促進する。

⑤. 目印は八王子暖簾事業(八王子商工会議所)

事業実施期間	平成30年度【未実施】 [認定基本計画：平成33年度～]
事業概要	中心市街地内の各店舗において、暖簾などの共通したマークを用いたサイン等を掲出して統一感を醸し出すとともに、各店舗で独自に開発した新商品を八王子ブランドに認定し、販売促進に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	現在、事業実施に向け、事業主体において内容等の検討及び調整を行っている。 なお、本事業により152,141,100円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	事業開始予定年度での実施に向け、引き続き内容等の検討及び調整に取り組む。

⑥. コミュニティサイクル事業(一般財団法人八王子市まちづくり公社)

事業実施期間	平成30年度【未実施】 [認定基本計画：平成33年度～]
事業概要	JR八王子駅と、中心市街地内及び市内周辺とをコミュニティサイクルで繋ぎ、中心市街地全体の回遊性を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業効果及び進捗状況	現在、事業実施に向け、事業主体において内容等の検討及び調整を行っている。 なお、本事業により 19,162,500 円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	事業開始予定年度での実施に向け、引き続き内容等の検討及び調整に取り組む。

⑦. あきんど研修会事業（八王子市）

事業実施期間	平成 30 年度～【未実施】
事業概要	商業者を対象とした、専門家や先駆者による研修を行い、既存の商店街や個店の魅力を上げるとともに、新規出店者に対しても、経営支援研修等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	現在、事業実施に向け、事業主体において内容等の検討及び調整を行っている。 なお、本事業により 152,141,100 円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	本事業の実施に向け、商店街等と引き続き調整に取り組む。

⑧. 地域経済応援ポイントによる販売促進事業（八王子商工会議所）

事業実施期間	平成 30 年度【未実施】 [認定基本計画：平成 33 年度～]
事業概要	商店街や大型店において共通のポイントにより消費者に特典を与える取組みを実施し、買い回りを促進して店舗の売上向上に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	現在、事業実施に向け、事業主体において内容等の検討及び調整を行っている。 なお、本事業により小売業年間商品販売額を増加させる効果を見込んでいる。
事業の今後について	事業開始予定年度での実施に向け、引き続き内容等の検討及び調整に取り組む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「民間商業施設建設事業」、「民間商業施設出店事業」の効果が見れるのは令和元年度（2019 年度）以降となること、また、他の主要事業についても事業実施に向けた検

討・調整を行っている最中であることから、目標達成は可能と考えられる。今後は、計画期間後半に実施される積算事業だけでなく、計画に掲載しているソフト事業とも連携し、官民が一体となって取組みを実施することにより、中心市街地における経済状況をより確実なものにしていきたい。